

津山市第5次総合計画 分野別懇談会の様子と意見要旨 ～現場から津山の未来を考える！～

日時 平成27年1月23日(金) 10:00～ 場所 津山市役所 大会議室

テーマ 経済・雇用 参加団体数 14団体

市長あいさつ



会場の様子



人口推計資料の説明をみなさんで聴き入ってます



分野別懇談会では、お一人おひとりからご意見・ご提言をいただいています



いろいろな方からのご意見・ご提言は計画に活かしていきます



現在、働いている若い男性・女性からもご意見をいただきました



人口減少への取組みはみんなで考えて将来の津山市へつなげていきましょう！





分野別懇談会（経済・雇用）での

みなさんからの意見・提言です。

○人口減少が一番の根本問題だ

○よその都市にないような子育て支援、子育てしやすいまちに特化した施策を

○大手の下請けが多く、地元産業が興らず、厳しい状況となっているのが現状

○交流人口を増やすために、官民挙げて観光の「産業化」に取り組むべき

○医療も人をよぶ材料になる

○総花の時代ではなく、英断をもって方向性を定め、決まったら一丸となって取り組もう！

○何もしないと人口は減少するため、取組みのスピードアップを図る必要がある

○全国の自治体の競争なので、今の時代、ネット上で「津山市はコレだ」というものがないと、どうしようもない

○観光は、団体ではなく、他都市とのコミュニケーションや口コミなどによって人がくる時代

○「面白いまち」には人が来るし、若者も残る。まちづくりと観光は一緒に行うべき

○外のすぐれたヨソモノの力を借り、受け入れていくようにしなければ、人口減少への取組みに間に合わない

○身内以外も含め、後継者の育成が急務

○人材育成しても出て行ってしまうのが現状であり、津山に住んで働くことがステータス、高価値になるようにしなければならない

○津山を都会にする必要はないし、都会と競争しても意味はない。津山らしい価値の

定着を！

- 企業誘致をしても、自動化が進み、雇用数が少ないのでは意味がない
- 「帰りたい。でも働く場がないので帰れない」と言っている若い人が多い
- 津山に実は様々な仕事があるのに、知らない若者が多いので、知らせる取り組みが必要
- Uターン対策に力を入れるべき
- 65歳以上の働く人・働きたい人への支援の必要性を感じている
- 働く場所に近いところでの育児サポートや、安価でいつでも預けられるしくみなど、女性が働きやすい土壌づくりを
- 地場産業の棚卸しをし、その支援育成をすべき
- 津山で働いてよかったと実感していただけるような環境整備を
- 働く人の福祉の向上は、地場産業の育成・強化の重要な要素
- 人口減少を遅らせるための、誰もが共有できる、明確な目標を定めてほしい
- 津山市は山陰のように、もっと危機感を持ってがんばらなければならない
- 場当たりの対応では解決できず、問題はどこにあるのか、真剣に考えないと、津山市はなくなってしまう
- 1の大企業やナショナルチェーンよりも、100の起業家を

など、多くのご意見が、活発に出されました。

みなさんから前向きで真剣な具体的な提案をたくさんいただきました。



参加された皆さん、大変お忙しいところありがとうございました。